



あけましておめでとう
お正月は、
「あけましておめでとう」
「お正月は、おめでとーう」
「お正月は、おめでとーう」
「お正月は、おめでとーう」

この3年間コロナ禍でほとんどの活動が停止しましたが、昨年は「3年ぶりに〇〇が開催されました」の報道が続き、社会活動が動き始めました。コロナウイルス感染症は数年がかりで、インフルエンザ並みになるだろうと言われていましたが、先取するように感染症の類型を変える動きがあります。年末はサッカーで大盛り上がりでした。スペインに勝利し新しい景色が見られると、多くの方が思ったのではありませんか。私もやってみなければ分からないと思いつつ勝って欲しい、勝つだろうと考えていましたが、でも大きな楽しさと感動を与えてくれました。しかし、「人の不幸の上での自らの幸せは本当の幸せではない」ワールドカップの影で、過酷な労働条件で働き多くの方が亡くなっていた事が伝えられています。この事実も踏まえてSDGs 17の目標の課題を解決して心から楽しみ、応援出来るようにしていかなければと思います。オリックスの優勝で少しは大阪も盛り上がりましたが、今年も「あれ」でもっと大阪が熱くなるようなになれば。でも大阪にはカジノはいらないと思います。今年こそコロナも収まり、元気な組合員さんの活動が再開して生き生きとした医療福祉生協の活動ができますように。

理事長 別所 義正

医療費の支払いでお困りの方一度ご相談ください 必要な診察・治療を受けていただく事が何よりも大切です

無料低額診療事業 実施診療所
・みなと生協診療所 ・たいしょう生協診療所(医科・歯科) ・ながほり通り診療所 ・西成民主診療所
TEL.06-6571-5594 TEL.06-6554-1197(医)/TEL.06-6554-8841(歯) TEL.06-6533-0106 TEL.06-6659-1010

医療福祉生協の理念 健康をつくる。平和をつくる。いのち輝く社会をつくる。

そのために 地域まるごと健康づくりをすすめます。地域住民と医療や福祉の専門家が協同します。多くのひとびとの参加で、地域に協同の「わ」をひろげます。

今月号のおもな記事 (P4-5) 特集記事 この家でこの地域で生活つづける その4

ma² CHOCO

ママ・ちょこ 82



和風ポトフ

- | | |
|---|---|
| <p>(材料)</p> <p>高野豆腐 2枚(乾30~40g)</p> <p>大根 3cm輪切り(100g)</p> <p>にんじん 1/2本(100g)</p> <p>ウィンナーソーセージ 4本(80g)</p> <p>ブロッコリー 小房3個(70g)</p> <p>サラダ油 大さじ1/2</p> <p>酒 大さじ1</p> <p>だし 2カップ</p> <p>塩 小さじ1/4</p> <p>柚子こしょう 好みで</p> | <p>(作り方)</p> <p>① 高野豆腐は包装の表記方法で戻す。手のひらで挟んで水気を切り、4等分に切る</p> <p>② 大根とにんじんは一口大の乱切り。ソーセージは半分に斜め切りする</p> <p>③ 鍋にサラダ油と②を入れ、中火でよく炒める。酒、だし、塩を加えて混ぜ、①を加える。煮立ったら蓋をして、弱火で15~20分間煮る</p> <p>④ ③にブロッコリーを加えて約2分間煮る</p> <p>⑤ 器に盛りつけたら、好みで柚子こしょうを添える</p> |
|---|---|

腸を元気に

私たちの心身は、その人が“食べたもの”から成り立っています。何を食べるかで心も(脳も)体も変化します。偏った内容の食事が続くと栄養の過不足が生じ、「やる気が出ない」、「だるい」、「風邪をひきやすい」など心や体がSOS信号を出します。そのような信号を見逃していませんか? 「主食・主菜・副菜」をそろえたバランス食を心がけましょう。

腸は「第2の脳」

腸には多くの神経細胞があり、神経細胞に情報を伝える物質の一つセロトニンは“幸せホルモン”と言われ、安心感・幸福感などをもたらします。セロトニンは脳や腸で作られるため、腸を元気にすると心身の調子が整います。

「腸が元気」とはつまり腸内細菌のバランスが整った状態です。ベストバランスは善玉菌2:悪玉菌1:中間的(どちらにも区別できない)な菌7です。善玉菌(乳酸菌やビフィズス菌など)には免疫力アップ・整腸作用があり正義の味方。悪玉菌(ウェルシュ菌や大腸菌など)は毒素やガスを発生、免疫力を低下させます。

腸内環境を整えるには

日々の食事に以下の物を上手に取り入れ、腸内環境を整えましょう。

- 食物繊維・穀類(玄米・雑穀米・押し麦など)
- 発酵食品(ヨーグルト・納豆・チーズ・ぬか漬け・塩麹など)
- オリゴ糖(野菜や豆類、果物に含まれる)

理事会報告

第5回 理事会

- 日時 2022年11月19日[土]午後2時30分~午後5時
- 場所 大正区コミュニティセンターホール(一部オンライン)
- 出席 理事 24名/27名 監事 3名/3名

常務会議事・主要項目 協議事項

- (1)事業運営
 - 1 新型コロナワクチンの対応
 - 2 法人事業管理運営に関して
 - 3 中期計画の策定
 - 4 総務事項
- (2)2022年度 全国四課題目標
- (3)医療福祉生協連・大阪府生協連・民医連・他団体
- (4)月間の取組み

第5回定例理事会 協議承認事項

- 1号議案:10月度の事業収支結果
- 2号議案:新春学習互礼会開催について
2023年1月14日(土)18:00~ 浪速区民ホール
- 5号議案:旧なぎさ薬局跡地について
- 6号議案:冬季一時金

各報告承認事項について

- ①事業に関する報告 ②2項組合員の加入
- ③委員会活動…各エリアの活動報告 ④社会保障・原発・震災支援の取組
- 次回 常務理事会…12月14日[水] 本部事務所 午後3時~
- 理事会日程…12月17日[土] 午後2時30分~午後3時
大正区コミュニティセンターホール

編集部
だより

あけましておめでとうございます。西成エリア編集委員の稲葉です。昨年11月号に登場したばかりですが、今年から編集委員が50音順に編集部だよりを担当するとのこと、再登場となりました。11月号では、「つれづれの里」近

くの聖天山付近の紹介をしましたが、「つれづれの里」の北側を通っている丸山通りは、丸山古墳が名前の由来で、古墳が作られた当時は、上町台地の縁で大阪湾がよく見えたと考えられます。古墳跡から少し東へ行くと、大阪キリスト教短期大学の横に、「夫婦善哉」作者の織田作之助来遊碑があります。ここには昔、松虫花壇という料理旅館があり、作之助は、昭和9年にここで結婚披露宴をひらいたということです。当時この辺りは、聖天山付近と合わせて風光明媚な行楽地だったようです。



123

今月の
いちまい

丸山古墳跡と
織田作之助来遊碑



援助をするときに大切なこと 「声かけ」と「ありがとう」

NPO法人おおさか教育相談研究所 山田相談員

子どもが心の「安心と安全」を感じ生活が安定してくると、親子の信頼関係を少しずつとりもどしていきます。しかしこの信頼関係のとりもどしには時間がかかります。なぜなら親は子どもを信頼しているつもりでも、子どもたちには不登校やひきこもりの特有の不安や心配・悩みがあるからです。今回はこの時期に大切なこと・気をつけなければならないことについてお話いたします。

子どもが口をきいてくれないときは、「声かけ」から始めましょう。

口を聞いてくれない我が子には、まずこちらから「声かけ」を始めましょう。打ち解けやすい雰囲気をつくりながらの「声かけ」は、親子が自然な形でつながる良い機会です。返事が無くても「おはよう」「ただいま」「今日は暑いなあ」などの「言葉かけ」を続けます。「何か欲しいものはないか」とか、テレビや空調を新しく取り換えようとするときに「どんな製品が良いか教えてほしい」など、その場に応じた「声かけ」は本人に心地よく受け止められます。大切なことはそのことを続けることです。

「禁句」があることも知って下さい。

これは言うのはダメという「禁句」があります。「いつまで自分勝手な生活を続けているの」「せめて家事ぐらいは手伝ったらどう」「お風呂に入らないから、臭いよ」「あなたは

学力があるんだから、やる気さえ出せばすぐに追いつける」「○○君は結婚したよ」「○○は就職したよ」などという言葉は本人を傷つける言葉で、禁句です。もし本人に対して傷つける言葉を言った場合は素直にすぐに謝ってください。

本人の前向きな行動に対して「ありがとう」という感謝の言葉かけがとても大切です。

例えば雨が降り洗濯物を取り入れた本人に対して「ありがとう本当に助かった」の言葉かけは、子どもにとって大きな励みになります。「食器を片付けてくれてありがとう」「掃除をしてくれて助かる」の一言は、本人にとっては家族から見捨てられていない安心感や自分の行動を喜んでもらえる嬉しさになり、次への前向きな行動へ必ず変化して行きます。

今回は「昼夜逆転」や「ゲーム三昧の生活」をどう支援するかということについてお話します。



教育相談申し込み
 まずは、お電話にて申し込みください
06-6762-0232
 電話受付 ▶ 火曜・金曜 午後2時～6時
 (後日、相談日時などをお知らせします)
 〒543-0021 大阪市天王寺区東高津町12-14 たかつビル2F
 くわしくは [教育相談おおさか](#)

感想などお便りとあわせてお寄せ下さい / 編集委員会

卯年 生まれの 組合員さん 2023年

大正エリア 澄明莉さん

最近正拳突きを強くしたいなと思っています。頑張ったので拳に青タンができました。強くなる第二歩です。

大正エリア 此上ひとみさん

ヘルパーステーションらぼーで働いている年女60歳です。私と一緒に働きませんか。

大正エリア 恐田光子さん

七回目の兎が、今年もやって来ました。ピョンピョン跳ねながら、組合員増やしも頑張ろうかな!

港エリア 鳥本聡士さん

今年は大学を卒業し、新社会人になります。暮らしていた実家を出て新しい環境に身を置くことや、就職してから職場でうまくやっていけるかと不安がいっぱいありますが、これまで育てくれた親や周りの人に感謝を忘れず「1日1日を」生懸命に歩んでいきたいと思っています。

西エリア 豊田悠介さん

野球の守備が上手くなるように頑張りたいです。

大正エリア 澄真理さん

「1日でも長く診療が出来るように頑張ります。」

西成エリア 竹中陸さん

今年も勉強頑張ります。

港エリア 小川正弘さん

今年も体を元気に、グラウンドゴルフを頑張ります！大会に出て優勝したいと思っています。そして元気を保ちます。

西成エリア 山田英樹さん

健康寿命を伸ばして、すべての人が幸せを受けとることができる世界と社会の予兆を感じることができればと思います。

「在宅家族の会」開催

2022年11月26日に初めての「在宅家族の会」が開かれました。家族を自宅で看取られた方や、現在も介護をしている家族の方などが集まって色々な話をするのが「在宅家族の会」です。

この会を開いたきっかけは機関紙「みらい」に載ったある記事で



した。内容はご夫婦2人暮らしで夫の看取りを在宅でされた方のインタビュー。「自宅で看取りなんて出来ない」と考えていた奥さんが、周りの方の支えや、また夫の「最期は自宅で」という想いもあったことで、自宅で看取りを決断されたという記事。この記事を読まれたある方からのお願いがこの会を開くきっかけになりました。(記事は「機関紙「みらい」2022年7月Vol.124」に掲載)

●「この人と話してみたい」

在宅で夫の介護をしているAさんは、この記事を読んで「この人と話してみたい」と訪問看護の看護師に声をかけました。Aさんは現在夫と2人暮らし。ほとんど寝たきりの夫を訪問看護やデイケアなども利用しながら在宅で介護

文責／みらい編集委員

しています。さっそく看護師が記事の奥さん(以下Bさん)に連絡を取ると、Bさんも快く了承。また数年前に夫を亡くされ、気持ちが沈んでいるというCさんにもお声をかけてみると参加してみたいとのこと、「在宅家族の会」の開催が決まりました。

●「次は2か月後ね」

会の当日は初めから皆さん打ち解けられた様子で、夫自慢に花が咲きました。思い起こせば、つらいことより夫のいいことばかり：『愛されていたんだな』と思う事、やさしかった生前のことなど話が尽きず、あっという間に2時間がたちました。心に残ったのは、亡くなった人の話題は、親せきや知人、友人、兄弟でも分かってもらえないと思う、やはり経験した者

同士でないかわかりあえないこともあるんだな：としみじみと話されていたことでした。

「もっと早くしてほしかった」、「次は2か月後ね」と会は楽しく終了しました。会を開いた看護師からは、「コロナ禍になってから久しぶりに清々しい思い」と、「やってよかった、継続していこう」と想いを新たにした声が聞かれました。

●訪問看護師の想い〜遺された家族への訪問を行って〜

今回の会を開いた経緯を看護師さんにも聞きました。

「訪問看護ステーションさくら通りでは、不定期ですが亡くなられた方の家族へ訪問をしています。

きっかけは、お看取りした後、その家族はどうされているんだろうという気がかりと、せっかく医療福祉協と結びつきが出来たんだから、縁が切れてしまうのは寂しい、つながりを継続したいという思いからです。また仲間づくり、居場所づくりにお誘いして地域で

ささえあいが出来たらいいねという事で開始しました。

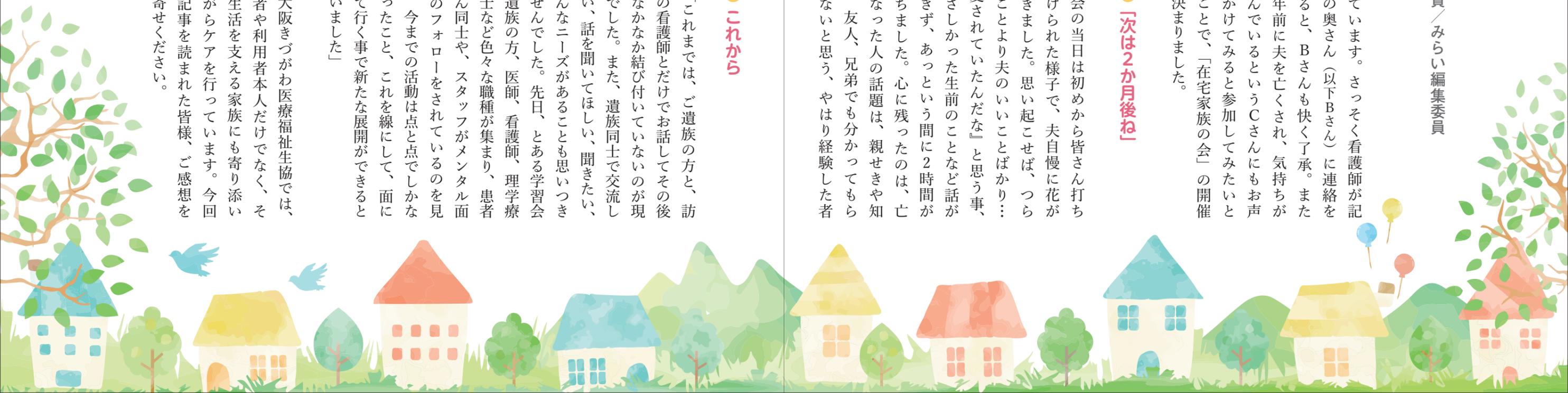
訪問すると涙が止まらず、ただ一緒に泣く時もありました。思い出話を聞いて、生前の患者さんの新たな面が垣間見えることもあります。ある家では亡くなられた本人のカラオケを録音されていて、『朝から寝るまで聞いているんです、十八番の歌を聞いてやってください』と、聞かせてもらったりしたこともありました。私たちも、訪問を喜んでもらい、幸せな時間をいただき、また元気な表情に安心したりと貴重な時間を共有させていただいています。そしてまた明日から元気に頑張ろうと力をもらっています」



●これから

「これまででは、ご遺族の方と、訪問の看護師とだけでお話してその後はなかなか結び付いていないのが現状でした。また、遺族同士で交流したい、話を聞いてほしい、聞きたい、そんなニーズがあることも思いつきませんでした。先日、とある学習会で遺族の方、医師、看護師、理学療法士など色々な職種が集まり、患者さん同士や、スタッフがメンタル面でのフォローをされているのを見て、今までの活動は点と点でしかなかったこと、これを線にして、面にして行く事で新たな展開ができると思いました」

大阪きづがわ医療福祉生協では、患者や利用者本人だけでなく、その生活を支える家族にも寄り添いながらケアを行っています。今回の記事を読まれた皆様、ご感想をお寄せください。



1	7				6
7	3	5	2	9	3
	7				9
4	1	3	9	7	8
5				8	2
	8			5	7
4	6	2			1

あたまたの体操
ナンバープレース
タテ・ヨコの同列内、太枠のブロック内に同じ数字が重ならないよう、1~9の数字をつまみましょう。二重枠の数字の合計を答えてください。

●2022年11月号のナンバープレースの答えは【3+7=10】でした

どこ？どこ まちがいは7



11月号の応募総数71名で正解者70名でした。

11月号の当選者 20名
図書カード当選者は発送をもって発表に替えさせていただきます。抽選は毎月第一月曜日に行っています。見学されたい方は、ご一報の上、お越しください。

【ハガキ 応募方法】
解答イラストを切り取り、ハガキに貼って下記住所までお送りください。
*ハガキ・メールとも氏名、住所、連絡先、今号の記事への感想やご意見、近況などをお書き添えください。また、ナンバープレース・まちがいはがしのどちらを解答していただいても構いません。

【メール 応募方法】
解答画像を添付の上、下記アドレスまでメールをお送りください。

正解者の中から抽選で20名の方に図書カード(500円)を進呈!

郵便番号は正確に
〒556-0024 塩草2-2-31
大阪きづがわ生協「みらい」係
mirai1@osaka-kizugawa.coop

どしどし応募
お待ちしております/
1月末日 必着

職員募集

求人詳細は当生協ホームページにて
<http://www.osaka-kizugawa.coop>
各事業所又は本部(06-4394-8500)まで

- 看護師
- ケアマネジャー
- 介護スタッフ
- 理学療法士
- 介護福祉士
- 送迎スタッフ
- 作業療法士
- 訪問介護員(ヘルパー)
- 運動トレーナー
- 歯科衛生士
- 事務員
- リハビリ助手

もっとひろがる!つながる!
おたより
コーナー
拡大版

今月の募集テーマは ※3月号掲載予定
【卒業できたこと】
写真も投稿してください! (理由も教えてください)

おたよりへの感想・お返事など、交流の場としてご利用ください

みる。マスク、夏はうんざりするが今は助かる。知り合いに逢ったが顔がはつきり見えぬので気がつかぬ様子。お互い様か心の中でわびる。
大正区 山口 清江さん

●出来るかぎり自分の事は自分で…。いつかは皆様にお世話になると思うけど、やさしいおぼあちゃんになりたい。長生きすると色々あり過ぎて疲れる。
大正区 パーバーさん

●毎日のように聖天山にお参りしていますが古墳だったこと、初めて知りました。さらに興味が湧きました。
西成区 姫野 芳子さん

●ペランダのバラが、つぼみからたくさんの花を咲かせています。涼しくなると急に枝が伸びて、葉も増え、元気でいます。あの暑い夏を越えたのだからと納得しています。
西成区 金元 美根子さん

●「登校拒否の克服には」を読み、登校拒否にはいろいろな理由があり、私に気になるのは支援を要する子どもが支援学校ならもっとゆとりマイペースで楽しい学校生活が出来るのでは?と思うのですが、先生も子供も苦労されている姿を見る事があります。親の理解が重要だなあと思っています。
西成区 北島 福恵さん

●先日、娘、孫、ひい孫とBBQをしました。なんと!全員が集まったのは3年ぶりです。天気も良く、楽しい一日でした。
大正区 ちいママさん

●立冬の今日、散歩していたらとても暖かく気持ちの良い日和でした。また八幡屋公園は紅葉してとてもきれいです。絵心があつたら一寸写生でもしてみたい気持。でも絵心はゼロです。
港区 長谷川 栄子さん

●今秋は3年ぶりに港区民まつりや天保山まつりが開催され、本当に楽しかったです。
港区 川原 重信さん

●最近泥棒に入られたくさん失いました。
大正区 熊谷 繁雄さん

●11月に京都の植物園に行ってきました。コスモスがたくさん咲いていて、お天気もよく楽しかったです。おにぎりがすごくおいしかったです。
港区 打越 節子さん

●3月に高校受験がありました。受験が近づいてきて勉強づけになっていますが、家族や友達がいるので頑張れます。受験が終わったら家族と旅行に行ったり、友達と遊びまくりたいです!
西区 後理羅「リ」さん

●「故郷自慢のたべもの」が話題になりました。食を通してふるさとを語るべき、なつかしさと

温かさが通うひとときでした。
大正区 元気さん

●11月とは思えない暖かさがびびりしています。12月に寒くなるのがつらいです。風邪をひかないようにしたいとおもいます。
西成区 谷岡 梨子さん

●また寒い冬がやって来ます。皆さん風邪を引かないように気をつけてね。
港区 塩月 ミキ子さん

●「どの子も自分の力で立ち上がりつつ歩き出す」への感想です。登校拒否を「克服」すべきものだとしている記事に、大変違和感を覚えます。私は不登校の子を育てる親です。子どもと向き合う日々の中で、子どもにとって、既存の学校には行きたくないは「生き方の意志表示」であり「選択」の一つなのだと感じるようになりました。子の意志を尊重しながらその子らしく育ち学んでいけるように環境を整えてあげることが大人の役割だと考えます。
学校へ行くことが正しい姿であり、行っていない子を「克服」させて学校へ戻そう、という考えが根底にある限り、子どもに共感することは難しいのではないのでしょうか?多様な生き方を認めていこうという風潮の今の世の中において、子どもの育ち方にも多様性を認めてほしいと思います。
既存の学校ではない居場所や、家庭の中で学

11月号で募集したテーマ
今年の抱負
港区 匿名希望さん

●今年の抱負「休みの日も外に出る」です。用事がない休日は家でだらだら過ごしてしまつので、今年なるべく外出しようと思っています!

港区 三姉妹の母さん

●私の今年の抱負は、自分の生活をよりよくするといふ観点からも、月2回は家族サービスの時間を作り、家族一致団結し、有言実行したいと決意表明します。
港区 山口 好孝さん

●今年の抱負は健康維持です。毎年の事ですが、健康に1年過ごすことの大切さは歳を重ねる毎に実感します。コロナが流行りだしてから特にそう感じます。当たり前の事になります。が、自炊して3食きっちり食べてよく眠る。適度に歩きよく笑う。ささやかな抱負です。
大正区 福浦 初美さん

●今年こそは仕事を探して生活リズムを戻さなければ!がんばります。インフルエンザの予防接種って医療機関によって金額が違うのはどうしてなのでしょう?以前友人が10月にかかりつけ医にいった時に、価格を聞いたら先生が今年はいくらにしようかなあ?って悩まれたという話を聞いたことが有る。
港区 まつちゃんさん

●抱負を語ると実行できないことが多く、近年は何も言わないようにしていました。ですが2023年は小さな抱負を語りたいたいと思います。ネイルアートの練習をたくさんして腕

を上げるぞー!!写真のネイルは、付け爪に絵の具を使って和風アートを描いたものです。1月なので和風なものを選びました。
西成区 まりもろーさん

※メールでおたよりを送っていただく場合、住所、氏名を入力してください。
※おたより掲載は図書カード当選と関係ありません。(編集部で選ばせていただいています)

●「みらい」で色々参考にし学んでいます。
大正区 大久保 八重子さん

●色んな事ができた秋!これから、自分のため子供のため家族のため、仕事も子育ても頑張らなうと。
大正区 ノアノアさん

●先日、インフルエンザワクチンを接種しました。スムーズな対応で安心して受けられました。
西成区 吉田 友子さん

●やっと秋が来た。けどすぐ寒くなって身に

●「登校拒否の克服には」を読み、登校拒否にはいろいろな理由があり、私に気になるのは支援を要する子どもが支援学校ならもっとゆとりマイペースで楽しい学校生活が出来るのでは?と思うのですが、先生も子供も苦労されている姿を見る事があります。親の理解が重要だなあと思っています。
西成区 北島 福恵さん

●毎日のように聖天山にお参りしていますが古墳だったこと、初めて知りました。さらに興味も湧きました。
西成区 姫野 芳子さん

●ペランダのバラが、つぼみからたくさんの花を咲かせています。涼しくなると急に枝が伸びて、葉も増え、元気でいます。あの暑い夏を越えたのだからと納得しています。
西成区 金元 美根子さん

●「登校拒否の克服には」を読み、登校拒否にはいろいろな理由があり、私に気になるのは支援を要する子どもが支援学校ならもっとゆとりマイペースで楽しい学校生活が出来るのでは?と思うのですが、先生も子供も苦労されている姿を見る事があります。親の理解が重要だなあと思っています。
西成区 北島 福恵さん

●先日、娘、孫、ひい孫とBBQをしました。なんと!全員が集まったのは3年ぶりです。天気も良く、楽しい一日でした。
大正区 ちいママさん

●立冬の今日、散歩していたらとても暖かく気持ちの良い日和でした。また八幡屋公園は紅葉してとてもきれいです。絵心があつたら一寸写生でもしてみたい気持。でも絵心はゼロです。
港区 長谷川 栄子さん

●今秋は3年ぶりに港区民まつりや天保山まつりが開催され、本当に楽しかったです。
港区 川原 重信さん

●最近泥棒に入られたくさん失いました。
大正区 熊谷 繁雄さん

●11月に京都の植物園に行ってきました。コスモスがたくさん咲いていて、お天気もよく楽しかったです。おにぎりがすごくおいしかったです。
港区 打越 節子さん

●3月に高校受験がありました。受験が近づいてきて勉強づけになっていますが、家族や友達がいるので頑張れます。受験が終わったら家族と旅行に行ったり、友達と遊びまくりたいです!
西区 後理羅「リ」さん

●「故郷自慢のたべもの」が話題になりました。食を通してふるさとを語るべき、なつかしさと

温かさが通うひとときでした。
大正区 元気さん

●11月とは思えない暖かさがびびりしています。12月に寒くなるのがつらいです。風邪をひかないようにしたいとおもいます。
西成区 谷岡 梨子さん

●また寒い冬がやって来ます。皆さん風邪を引かないように気をつけてね。
港区 塩月 ミキ子さん

●「どの子も自分の力で立ち上がりつつ歩き出す」への感想です。登校拒否を「克服」すべきものだとしている記事に、大変違和感を覚えます。私は不登校の子を育てる親です。子どもと向き合う日々の中で、子どもにとって、既存の学校には行きたくないは「生き方の意志表示」であり「選択」の一つなのだと感じるようになりました。子の意志を尊重しながらその子らしく育ち学んでいけるように環境を整えてあげることが大人の役割だと考えます。
学校へ行くことが正しい姿であり、行っていない子を「克服」させて学校へ戻そう、という考えが根底にある限り、子どもに共感することは難しいのではないのでしょうか?多様な生き方を認めていこうという風潮の今の世の中において、子どもの育ち方にも多様性を認めてほしいと思います。
既存の学校ではない居場所や、家庭の中で学